

Color Gallery

2020 年版「化学の日」 缶バッジデザイン決定

最優秀賞



田中 理紗さん（東京理科大学）

優秀賞



山口 理恵さん

日本化学会（小林喜光会長）では「化学の日」（10月23日）「化学週間」（10月23日を含む週（月曜日～日曜日））を広める取り組みの一つとして、2015年より毎年「化学の日缶バッジ」のデザインを公募しています。今年は新型コロナウイルスの影響で学校が休校になるなど様々な環境変化がございましたが、618名の方にご応募いただき（内訳：小学生の部39点、中学生の部51点、高校生の部284点、一般の部244点）厳正な審査の上、下記のとおり決定いたしました。なお、本年は審査過程で「コンセプト特別賞」「デザイン特別賞」が新設され、2点が受賞されました。おめでとうございます。

最優秀賞

田中 理紗さん（東京理科大学）

優秀賞

山口 理恵さん

高校生特別賞

立川 亜子さん（横浜市立南高等学校）

中学生特別賞

山下 絵奈さん（市川学園市川中学校）

小学生特別賞

森田 実知香さん（さいたま市立大谷場東小学校）

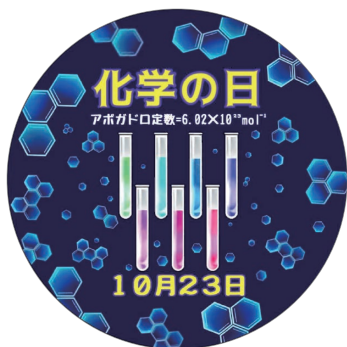
コンセプト特別賞

加藤 雪乃さん（株式会社 CAM）

デザイン特別賞

堀江 優菜さん（東京都立両国高等学校）

高校生特別賞



立川 亜子さん

(横浜市立南高等学校)

中学生特別賞



山下 桢奈さん

(市川学園市川中学校)

小学生特別賞



森田 実知香さん

(さいたま市立大谷場東小学校)

コンセプト特別賞



加藤 雪乃さん

(株式会社 CAM)

デザイン特別賞



堀江 優菜さん

(東京都立両国高等学校)

最優秀賞作品は 2020 年度版「化学の日缶バッジ」に採用され、
全国で開催される化学の日、化学週間関連イベントで配布される予定です。

審査委員長 玉尾 皓平 元日本化学会会長/豊田理化学研究所所長

審査員 中村 聡 日本化学会 副会長、教育・普及部門長/沼津工業高等専門学校 学校長

齊藤 幸一 日本化学会 教育・普及部門 普及交流委員長/開成高等学校教頭

竹内 恵 日本化学会企画部長

「化学の日」とは

日本化学会、化学工学会、新化学技術推進協会、日本化学工業協会の4団体の共同提案で、10月23日を「化学の日」、10月23日を含む週(月曜日～日曜日)を「化学週間」と制定しています。

アメリカでも昔から「Mole Day」として親しまれており、「アボガドロ定数：1 molの物質中に存在する粒子の数=6.02×10の23乗」に由来しています。化学や化学産業が社会生活に大きく貢献していることをみなさんに知っていただき、化学を盛り上げていくことを目的としています。

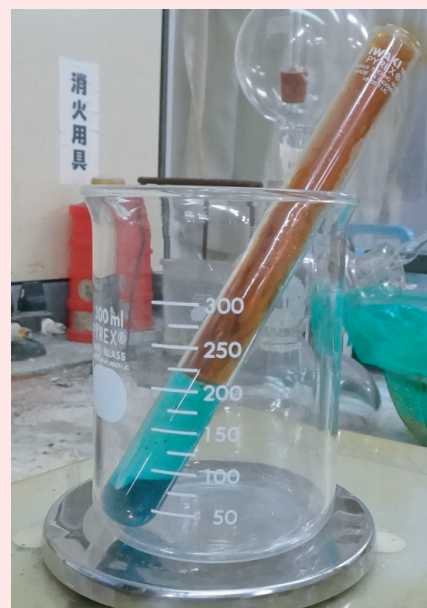
Color Gallery

ヘッドライン

思考力を養う化学の授業，思考力が問われる化学の問題とは？

無機化学の分野における思考力とは

小宮山宏之



■銅と様々な濃度の硝酸（1～13 mol/L）の反応比較（左）及び反応による質量変化の測定（右）（P326, 写真 1）

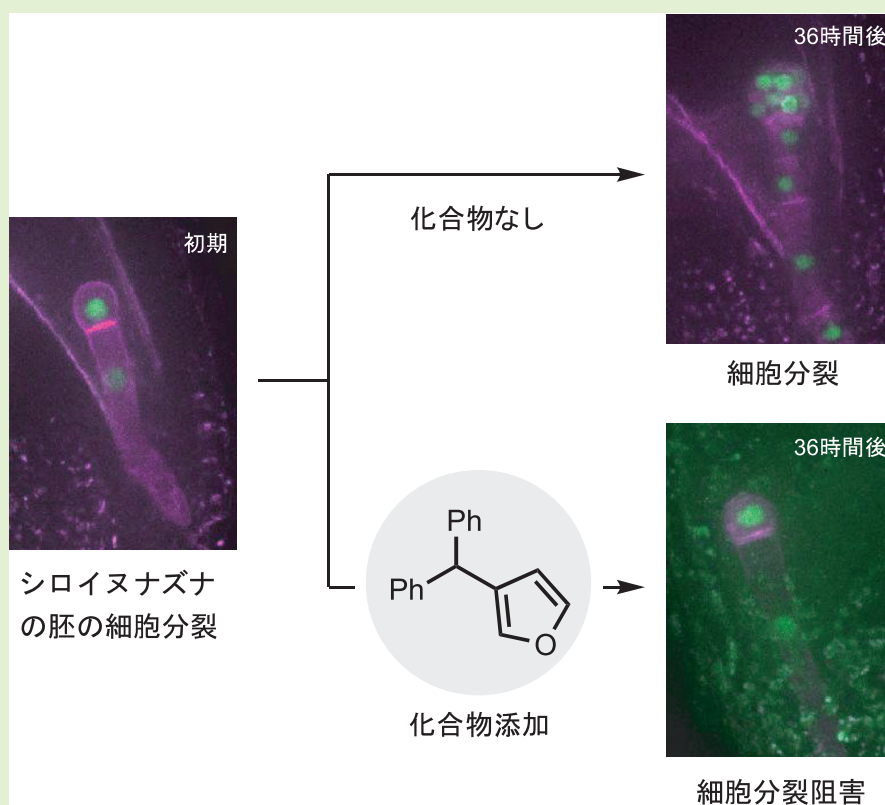
Color Gallery

新・講座

有機化合物の反応

スルホンを用いる新しいクロスカップリング反応と応用

南保正和



■植物の細胞分裂を急速に阻害する化合物の発見 (P346, 図 5)

シロイヌナズナの胚の細胞分裂の様子を顕微鏡で観察した。化合物なしでは核（明るく円形をした部分）の数が増加していることから、細胞分裂が頻繁に起こっていることがわかる一方で、化合物が存在すると細胞分裂が急速に阻害された。